

東和作戦会議会報 No. 2 1

2020年11月15日発行

一般社団法人東和作戦会議広報担当



東和おもしろ学

古道に行く 三十三仙道

2020年11月15日(日)

快晴のもと、平野保さんを講師に27名の参加を得て実施しました。

9:00 カブト虫童夢「三十三仙道の碑」の前で開会式。薄衣照雄さんの誘導で町井ふるさとセンター「おでって」まで徒歩。「おでって」で座学。その後、車と徒歩で「三十三仙道」を歩き江刺野手崎まで。口内の産直に立ち寄り12時45分に解散しました。



町井ふるさとセンター「おでって」での座学

平野さんから三十三仙道の道程、当時の活用状況などについて解説が行われました。「三十三仙道以外にも旧道は多くあり、どのようにつながっていたかは明確にはなっていない部分もあるが、追分の碑などを調査していけば面白い発見がありそう」とのこと。町井の地元の方からは鷹巣堂方面につながっていたと聞いているという情報も。仙道は、「修行の道」と考えれば、山伏修行の早池峰にもつながっているのではないかと、参加者からロマンあふれる見解もでした。



手指の消毒、マスク着用で換気にも気を配りました。



ここ「砂子一の橋」から、小原まで、田園地帯と山道を一時間かけて歩きます。



庚申神社(毒沢)

現在では火災から地域を守るお社として祀られています。鳥居もあり神社ですがお堂は仏堂のように見えます。神仏習合の名残でしょう。



草地を通過して砂子・小原境まで。この先は砂子の及川さんのネギ畑

当日の行程

- 9:00 町井カブト虫童夢集合
開会式 薄衣代表理事挨拶
講師平野保さん紹介(藤井理事)
- 9:20 座学
- 10:10 砂子一の橋から踏破開始
- 11:20 倉沢集落センターで周辺の解説
- 11:40 柳清水を通過し野手崎まで
途中江刺赤部の追分の碑などを見学
- 12:00 北上市口内の産直で休憩
- 12:45 町井カブト虫童夢解散



砂子から小原まで、木の葉で敷き詰められた、いかにも古道らしい道を、昔を偲びながら歩きました。「子供時分に、兄弟で野手崎の親の実家まで歩いた記憶があるがよく歩いたもんだな。」などという回想もついでます。



三十三仙道

ここからここまでという記録はありません。構造改善や農地整備、新道路の整備などで旧道は寸断され、江戸時代の面影は既にありません。昭和の時代のかすかな記憶を頼りに「道を繋げる」努力をしてみました。まだまだ調査が足りない部分もあり、参加した皆さんの新たな手掛かり探しに期待するものです。



倉沢御番処(所)跡

写真左奥に見える平らな場所が御番所跡。黒沢尻から浮田、田瀬にかけて御番所が点在していました。この番所の下を迂回して、倉沢神社の前をとおり高速道の下をくぐって一旦東に向かうような道筋だったと考えられます。(平野さん)古文書には御番所役人の任命書などが残っています



江刺地内の小萩陣屋跡、追分の碑などを見ました

江刺赤部地内の「追分の碑」2 か所見学そのうちの一か所(写真右)の所有者が偶然通りかかって、お話を伺うことができました。東和に実家があり、嫁ぎ先で、現在石碑の管理をしているという今野さん。「碑を建立したいきさは全くわかりませんが、農地整備の際に数か所にあった石碑をこの場所にまとめた」と聞いていますとのこと。

事故もなく、無事踏破成功！

参加者の反応としては、本当にここが三十三仙道であるという確証がつかめなかった。

地理的によくわからなかった。

実際に歩いてみると、子供のころの記憶が鮮明に蘇る。

あの道を通って魚釣りに行った。リンゴ畑に行った。親の実家に帰ったなど。何かのきっかけで昔を思い出し、それを記録し、次代に繋げていくことが、今の私たちにできること。小さな積み重ねを大切に、身近にある小さな歴史を残していきたいものです。



「おもしろ学」また参加したいですか？
「は〜い」ほぼ全員の手が上がりました(拍手！)